

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

障害者支援施設山郷館

みんなのあずまいを
目指して
リフター活躍中です！

「はい、ゆっくり上がって動きますよ。大丈夫ですか？」

職員のこんな声かけとリモコンによる器械操作で、利用者さんがハンモックのようなネットに乗ってベッドから車いすに移る光景は、今では当たり前のようになっています。

『障害者支援施設山郷館』では3年程前から「移動用電動リフター」を導入しています。利用者さんのベッドと車いすの移動を、それまでの職員の抱きかかえや2人がかりでの持ち上げからリフターによって行う方法に変えていくという取り組みです。

従来の移動方法では力任せや無理な体勢での動きにより、利用者さんの小さなケガや職員の腰痛につながるがありました。それ

がリフターを使用することで、腰痛を気にすることなく介護に専念できる環境を作ることにつながり、いつでも安定した安全安心な介護を提供できるようになっています。初めは不安な様子が見られた利用者さんも、今ではすっかり慣れ、「職員が抱ぐよりもリフターのほうがあずまいいいじゃ。」との言葉が聞かれるほどです。

今では全国的にも福祉機器を活用した「抱え上げない介護」を目指す施設が増えています。山郷館弘前グループでも施設だけにとどまらず、デイサービス事業所でも導入に向けた準備



備に入っています。いつでも、どこでも、力に頼らない安全で安心な介護をお届けできるよう進めています。

拓光園グループ

いざ、クリーン作戦!

4月30日、拓光園グループの居宅支援各事業所では「クリーン作戦」と称して、『旧弥生小学校』から『障害者支援施設拓光園』までのゴミ拾いをしました。日頃からお世話になっている弥生地区の皆さんの為に、少しでもお役に立てればと総勢15名、晴天に恵まれた中で気持ちよく参加しました。

雪解け間もない時期だったこともあり、歩道には空き缶やたばこの吸い殻、弁当の空容器等たくさんのごみ落ちていました。参加された利



用者の皆さんは、「こんなにゴミが落ちていると思わなかった。」「こんなに落ちているなら、頻繁にやらなきゃ。」などの声が聞かれました。清掃中は近隣住民の皆さんから「ありがとう。」と感謝の言葉をいただき、より一層意欲が高まりました。終了後は歩道にゴミ一つなくなり、大成功に終わりました。今後定期的に行い、地域の美化に協力していきたいと考えています。

拓心館グループ

ドリーム会総会

『津軽生活支援センター』には「ドリーム会」という自治会があり、利用者さんが主体となって行事を計画、実行しています。

この「ドリーム会」の総会が、4月27日(日)に『就労サポートひろさき』にて行なわれました。前年度自治会長のAさんの進行で、今年度の自治会役員の選出、年間の行事について意見を出し合いました。

お花見、ボーリング大会、カラオケ大会など様々な行事について話し合われる中で、一番盛り上がるのは自治会旅行の行き先についてです。去年は横浜コースと函館コースでしたが、今年は福島やお台場、その他

「五所川原の立佞武多が観たい。」
「今年全線開通した三陸鉄道の旅がしたい。」という意見が上がりました。最終的にどこに決まるかは、この意見をもとに旅行会社の方と打ち合わせをして決められます。

利用者さんの計画した行事がより充実したものとなるように、職員も協力していきます。



山郷館黒石グループ

地域生活支援の充実を目指して

『山郷館サポートセンターくろいし』『山郷館地域活動支援センターキャンパス』は、これまで以上にたくさんの方に利用して頂けるように、営業日が水・日曜日に変更にな

りました。活動プログラムは社会適応訓練や社会活動参加、地域交流などを目的に、楽しみながら参加出来るよう利用者さんの意見や希望を取り入れながら行っています。

4月は講師の先生を招いての「ヨガ教室」を開催しました。参加した利用者さんからは、「楽しかった、また参加したい。運動不足の解消になった。慣れない姿勢で体が痛くなったけど、気持ち良かった。」などの感想が聞かれました。活動プログラムのの中では、講師を招いての講座や教室は特に人気があり、喜ばれています。利用者さん含め、地域の方々にもこれまで以上に多く参加して頂けるような企画や活動を行っていきます。

講座の案内については、黒石市役所、近隣の医療機関等に配布しておりますので是非、ご覧下さい。



サンアップルホームグループ

「ホームページ」を
ご覧下さい

平成26年4月、特別養護老人ホーム『サンアップルホーム』のホームページが再開しました。以前も当施設だけでなく、七峰会本部並びに各施設のホームページがありました。が、業者のシステム変更に伴い、休止状態となっていました。

これまでのホームページは、職員が手作業で完成させたものであり、「必ずしも見やすく、わかりやすい」ものではありませんでした。今回は、内容やデザインを全て職員が練り上げ、実際の画面作成は専門的な技術を活用しています。

一人でも多くの方に見覧していただく事で、さらに検索しやすくなるというメリットがあります。ぜひぜひ、『サンアップルホーム』のホームページを開いていただければ幸いです。

サンアップルホームアドレス

<http://www.sunapplehome.jp/>

サンアップルとは

施設概要

サービス内容

地域との関わり

入所申込み

ホーム

もうひとつの我が家
もうひとりの家族

今年度より『旭光園相談支援事業所』を開設しました。
障がいのある方やご家族の「様々な困り事」「悩み事」をお聞きし、解決方法を一緒に探す所です。
地域に暮らす障がいのある方（身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病の方）の福祉に関する様々な課題に対し、日常生活や社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と連携を図りつつ、効果的な支援を受け福祉サービス等の利用計画の作成をします。

旭光園グループ

旭光園相談支援
事業所開設

開所日・時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談は、『無料』です。

連絡先

旭光園

電話 57-5155

FAX 57-5156

地域の皆様が「安心」して「笑顔」で暮らせるように、お手伝いします。
皆様のご利用をお待ちしております。

ちよつといひ話！

周囲をりんご園に囲まれている旭光園は、自然が豊かで野鳥を多く見かけます。今の時期、利用者さんを楽しませてくれているのは「ハト」です。先日から事務室の軒下にある「殺虫灯」の上に巣を作りました。
日中は二羽のヒナ鳥にせっせと餌を運ぶ親鳥の姿が見られます。朝はみなさん、ハトの楽しそうな鳴き声で目が覚めるようです。

平和の「シンボル」と言われるハト。サブレを土産にバスで幸せを運んでくれるような気がします。



社会福祉法人 七峰会 平成25年度 決算報告書

これは、平成26年5月9日～20日に法人監査を行い、平成26年5月28日に評議員会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

事業活動収支計算書

(自 平成25年 4 月 1 日)
(至 平成26年 3 月31日)

資金収支計算書

(自 平成25年4月1日)
(至 平成26年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流 動 資 産	2,298,223	流 動 負 債	337,140
固 定 資 産	4,503,044	固 定 負 債	12,000
基本財産	2,136,356	負債の部合計	349,140
その他の 固定資産	2,366,688	純 資 産 の 部	
		基 本 金	564,540
		国庫補助金等 特 別 積 立 金	462,851
		その他の積立金	1,779,788
		次期繰越活動 収 支 差 額	3,644,948
		(うち当期活動収支差額)	320,012
		純資産の部合計	6,452,127
資産の部合計	6,801,267	負債の部及び 純資産の部合計	6,801,267

脚注

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 減価償却費の累計額 | 2,777,397 千円 |
| 2. 徴収不能引当金の額 | 0 千円 |

(単位:千円)

勘定科目	金額
事業活動収入	2,732,433
事業活動支出	2,397,031
事業活動収支差額	335,402
就労支援事業収入	88,831
就労支援事業支出	87,702
就労支援事業収支差額	1,129
事業活動外収入	89,083
事業活動外支出	88,927
事業活動外収支差額	156
経常収支差額	336,687
特別収入	11,725
特別支出	28,400
特別収支差額	△ 16,675
当期活動収支差額	320,012
前期繰越活動収支差額	3,557,968
当期末繰越活動収支差額	3,877,980
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	103,581
その他の積立金積立額	336,613
次期繰越活動収支差額	3,644,948

(単位:千円)

勘定科目	金額
經常活動收入	2,775,508
經常活動支出	2,300,226
經常活動資金収支差額	475,282
就労支援事業収入	88,831
就労支援事業支出	82,601
就労支援事業収支差額	6,230
施設整備等収入	1,780
施設整備等支出	95,858
施設整備等資金収支差額	△ 94,078
財務活動収入	103,651
財務活動支出	357,238
財務活動資金収支差額	△ 253,587
当期資金収支差額合計	133,847
前期末支払資金残高	1,820,507
当期末支払資金残高	1,954,354

注記

1. 棚卸資産については、
資金収支計算より除く。
6,729 千円

[illegible]